

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 22-008

PDCA	事務事業名	福祉ふれあいプール管理運営事業	部課等名	健康子ども部スポーツ課 施設担当	担当	豊田	
					内線等	27-6663	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち					
		節： 第2節 生涯学習の推進					
		基本施策： 4. 生涯スポーツ・レクリエーション					
		単位施策： (2) スポーツ施設の効率的利用と整備・充実					
根拠法令等	個別施策： ③スポーツ施設の整備						
対象・目的	安全・快適な施設となるよう維持管理し、利用者が安全に水泳や水に親しむ場所を提供する。						
目的を達成するための手段・活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・25mプール槽床の改修</li> <li>・指定管理者制度による施設管理の継続</li> <li>・自主事業の企画運営</li> <li>・利用者アンケートの実施</li> <li>・ガスでの運営を想定した施設整備</li> </ul>						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		①年間開館日	310	308	283	日	
		②					
		③					
		事業費	82,847	100,704	102,459	千円	
		人件費	1,687	1,285	1,723	千円	
		総事業費	84,534	101,989	104,182	千円	
	活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位		
	①福祉ふれあいプール利用者1人あたりの管理運営経費	890	764	800	円		
	②福祉ふれあいプール敷地面積1㎡あたりの管理及び整備コスト	6,292	7,591	7,754	円		
	③						
	成果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		①施設利用者数	実績値	95,025	133,560	130,158	人
			目標値	88,500	141,000	150,000	
		実績値					
		目標値					
	実績値						
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ある
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	事業の評価・課題	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ある
		<b>D</b>					
		施設利用者数の目標値を達成できなかった。令和元年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月に1日しか開館できなかったことにより、利用者数の減少が顕著にあらわれた。無料サービスや教室などの自主事業の開催やプール槽の修繕を実施し、サービスの充実と安全・快適に施設が利用できる環境を整備した。 固定の利用者を確保しつつも、新規の利用者を獲得するため、設備等を整備していく必要がある。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	<p style="text-align: center;"><b>改善推進</b></p> <p>固定利用者の満足度上昇、新規利用者の獲得や施設の有効活用を図るため、指定管理者と綿密に協議をするとともに、施設を整備し利用者の増加に努める。 また、令和4年度から熱源ボイラーによる運営を行うため、熱源ボイラーの試運転等を行い、問題点や修繕点を見つけ改善していくことで正常に運営できるよう準備する。</p>					
	令和2年度の目標	成果指標	目標値	単位			
		①施設利用者数	140,400	人			